

事業所名

重症児デイサービスAQUA

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和6年

9月

23日

法人（事業所）理念	どんなに重い障害があっても、生まれてきた地域で最後まで笑顔で暮らせる社会の実現		
支援方針	あまねは地域と共に、本人「活動・参加」・家族を支援する多機能型事業を展開し、抱え込まない支援を目指します。		
営業時間	10時	0分から	16時0分まで
	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	個々の疾患、病状、医療的ケア、健康維持、生活リズムの形成について個別の支援方法を考えます。体位や体の状態（良肢位、側彎、関節拘縮、筋弛緩or緊張）を考慮しながら、食（咀嚼、嚥下、姿勢）、排泄（排便コントロール、トイレトレーニング）その他日常生活動作についても、障害に応じて育成支援方法を考えます。遊びを通して、季節感を得たり様々な経験が積めるよう支援すると共に、環境にも配慮し工夫します。見通しをもって自立した行動ができるよう個々に合ったスケジュール支援の提案、実践を行っていきます。	
	運動・感覚	運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感等、様々な感覚・感触に触れ、経験することで成長を支援します。気持ちのフィードバック・コントロールに対しても働きかけます。音楽療法の活動の中で音や、感覚、触覚を感じ様々な感覚に働きかけます。機能訓練士が計画を立て、専門的知識を活かして機能訓練を行います。	
	認知・行動	認知に関する状態を把握し、発語がなくても表情や喃語、体の動きなどから自分の思いを発する事ができるよう支援方法を考えます。自分の思いを言葉や行動で表現し、伝えることが楽しい、良かったと感じられるように関わり方やコミュニケーション方法を工夫します。	
	言語 コミュニケーション	発語だけではなく、表情や体の動きなどで、コミュニケーションがとれるような支援方法を考えます。ジェスチャーやカード等、個々にあったコミュニケーション方法を考え支援します。活動を通じたお友達の中で、コミュニケーションスキルを育てていきます。	
	人間関係 社会性	他者との関わりの形成、仲間作りと集団への参加をねらいとして、愛着行動の形成、遊びを通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援します。	
家族支援	ご家族の困りごと、ご家族が目指す生活、子どもの成長への思いに寄り添い、一緒に子育てしていく気持ちをもって、一緒に考え、支援、アドバイスを行います。	移行支援	就園、就学、卒業、に向けてその時々で、ご家族、子どもの不安が軽減するよう多職種、関係機関と連携して支援します。
地域支援・地域連携	学校、医療機関、関係機関、居住地域との情報共有を行い、同じ目標に向かって支援します。	職員の質の向上	支援、医療ケア、人間性等、感染症、防災等の様々な研修を実施し、知識と実践の向上をしていきます。
主な行事等	季節毎の制作、運動会、お遊戯会、卒園、卒業のお祝い、誕生日会、プール活動、夏まつり、クリスマス会、ハロウィン、お花見、音楽療法、音楽会等		